

二学期がスタートしました！

45日間の夏休みを終え、元気な子どもたちが学校に帰ってきました。

休み前に比べて、体がひと回り大きくなりたくましくなった子もいれば、久しぶりの登校で体が重そうな子もいました。

まだまだ暑い日が続く中、早々に運動会の練習も始まります。学校生活のリズムを取り戻し、元気に楽しく活動してほしいと思います。二学期もよろしくお願いします。

(以下、始業式での校長の話)

みなさんお早うございます。

久しぶりに、みなさんの元気な声が聞けて、うれしく思います。

さて、45日間の夏休み、楽しく過ごせましたか？

病気やけが、事故に巻き込まれるといったことはありませんでしたか？

全国的には、子どもが水の事故に遭ったとか、さらわれて命を亡くしたとかいった悲しい事件・事故もあったようですが、羽津北小学校のみなさんにはそういったことはなかったようで、先生も大変うれしく思っています。

おまけに、育成会のドッジボール大会で別名4丁目男子チームが羽津地区代表になり、四日市大会でも見事優勝したとか、スポーツ少年団の大会や学童水泳大会でも、素晴らしい成績をあげたなどの話も聞いています。

さて、今日から二学期が始まります。

毎日「ゴロゴロ」「ダラダラ」「ウザウザ」といった生活をしていた人にとっては、学校生活のリズムが取り戻せるまでは、ちょっと苦労すると思います。

まだまだ暑いですが、教室にはエアコンはもちろんありません。今日から決まった時間に決まった活動をすることになります。そんな学校生活に早く戻れるように、家での生活を見直してほしいと思います。

2学期というのは、学校での活動が最も充実する学期です。

2週間ちょっと後の9月19日には、運動会があります。

10月11日には、自然教室や修学旅行、音楽会、社会見学といった大きな行事が目白押しです。

1学期も頑張って取り組んできた「けやきっ子 十か条」に一人ひとり真剣に取り組んで、2学期の終業式で「頑張れた」「素敵な学校になった」「とっても楽しかった」と言えるようにしていきましょう。

終業式のときにもお話しましたが、校長先生は夏休みの間、荒れ地を野菜が植えられる畑にするために、悪戦苦闘しました。

校長先生の前に立ちちはだかった最大の敵は、「35度を超える暑さ」と「知らぬ間に伸びてくる雑草」でした。その他にも「大雨、長雨」や「みなさんの頭の大きさ程の石」など、敵は数知れずで、野菜が植えられる畑をつくるための戦いはこれからも続きそうです。

それからもう一つ。子どもからの夢を実現する体験ができました。

みなさんは「パワーショベル」「ブルドーザー」「ホイールローダー」といった工事現場で

働いている黄色い機械のことを知っていますか。土を掘ったり、ならしたり、積み込んだりするための工事用の機械です。

校長先生は、子どものときからこれらの機械に「一度でいいから乗ってみたいなあ。」という夢を持っていました。この夏、2日間愛知県の練習場に通って、何とその夢を実現することができました。特に、パワーショベルは操作が難しく、思うように操作できませんでしたが、小さい時からの夢が実現できて、とても嬉しかったです。

みなさんも、目標をもって、努力することを楽しみや喜びにかえて、がんばってほしいと思います。



3回目の避難訓練を実施しました

(以下、避難訓練のときの校長の話)

今日は「緊急地震速報」を使つての避難訓練を行いました。今から3択クイズを出します。緊急地震速報が流れたときの正しい行動はどれですか？

- ① 急いで外に出る ②窓をとにかく閉める ③激しい揺れに備えて身を守る

正解は、③です。(ほとんどの子が正解)

緊急地震速報は、家のテレビやラジオ、街中のスピーカーからも緊急時に流れます。「緊急地震速報・・・ビービー・・・」という放送が聞こえたら、数秒後に大地震が襲ってきます。揺れに備えて、自分の身を守る体勢をとりましょう。

昔から、どの学校でも2学期がはじまったらすぐに、避難訓練を実施しています。それには、訳があります。

1923年9月1日。今から100年近くになりますが、「関東大震災」といって、東京地方を中心とした大地震が発生しました。その地震で、190万人の方が家を失いました。また、10万5千人の方が、死んだり行方不明になったりしました。

みなさんもよく知っている東日本大震災で死んだり行方不明になった方の数が約2万2千人ですので、4倍以上の方が死んだり行方不明になるという大地震でした。

その日は、朝から強い風が吹いていたそうです。また、地震発生時刻がちょうど各家庭で火を使っているお昼の12時近くであったため、大地震の後に大火事が発生したため、地震そのもので死んだ人の数よりも、地震後に発生した大火事で焼け死んだ人の数が多かったそうです。

「大地震の後には津波が襲ってくる」という話を以前しましたが、今日はひとつ大事なことを覚えてほしいと思います。

「大地震の後には大火事も起こる」ということです。起こさないためには、大地震が起こった後、一人ひとりが火元の始末をきちんと行えることです。

これでお話を終わります。

